

2001年度事業計画

・協会事業

1) 2001年度低温工学協会褒賞：

- ・論文賞（低温工学第 34,35 巻）

受賞者：住吉文夫，川畑秋馬，渡部浩司，大松一也

対象論文：「ポインティングベクトル法による高温超伝導テープ線材の交流損失測定」

低温工学 第 35 巻 12 号 575 ~ 582 頁

- ・奨励賞 受賞者：中納暁洋

- ・業績賞 受賞者：柳井正誼

- ・優良発表賞 受賞者：

荒木猛司「TFA-MOD 法による YBCO 線材開発 - 金属上長尺成膜のための低温化熱処理」

大熊 武「6.6 kV 整流型限流器の開発 (1)」

岡田秀彦「酸化物超伝導マグネットを用いた磁気分離サイクル実験」

長村光造「2次元性多結晶テープ材の J-E 特性の統計的解析 - 電流集中の効果」

小泉徳潔「電流偏流によって常伝導転移した素線の電流挙動の解析」

下畑賢司「Y系高温超伝導薄膜限流素子の限流特性解析」

中村武恒「Bi-2223/Ag 多芯テープの異方的電流輸送特性と常伝導伝搬特性」

沼澤健則「酸化物蓄冷材料の特性」

琵琶哲志「共鳴管につながれたループ状チューブにおける自励振動」

松本明善「温度勾配熱処理により作製した Bi-2212/Ag テープの組織と超伝導特性」

2) 冷凍部会：

- ・例会を 8 回（国際会議報告会、見学会 1 ~ 2 回及び公開例会 1 ~ 2 回を含む）
会

を 1 回開催する。

- ・第 4 回低温技術講習夏合宿を開催する。
- ・年間講演集を 1 冊発行する。
- ・極低温関連産業支援のための広報事業を行う。

3) 安全性検討委員会：

- ・高圧ガス保安法，関連法基準の現状調査をする。
- ・ヘリウム設備の冷凍安全基準案の検討をする。
- ・検討委員会を年 2 回開催する。

4) 受託事業：

- ・「超伝導工学データベースのデータ入力作業」（物質・材料研究機構からの受託）を実施
する。

・学会事業

1) 学会誌「低温工学」

- ・36 巻 4 号 ~ 37 巻 3 号の発行。
- ・下記のテーマの特集号等を予定している。

特集号「熱音響自励振動」 「ITER CS モデルコイル と CS インサートコイル」

「超伝導応用のための超流動ヘリウム技術」

「超電導磁気分離」

シリーズ「21世紀に継承したい超電導応用技術」

基礎講座「超電導材料入門」

- 2) 研究発表会(学会) : 年2回開催する。
 - ・2001年度春季低温工学・超電導学会 (通算第64回)
2001年5月16~18日(明星大学)
 - ・2001年度秋季低温工学・超電導学会 (通算第65回)
2001年11月23~25日(福井工業大学)
- 3) 材料研究会
 - ・研究会を年4回(見学会2回を含む)開催する。
 - ・講演論文集を1冊作成する。
- 4) 超電導応用研究会 :
 - ・研究会を年4回開催する。
 - ・講演論文集を1冊発行する。
- 5) 調査研究会 : 下記のテーマで実施する。
 - ・「超流動システム調査研究会」(1999~2001年度)
 - ・「超電導・低温工学教育応用調査研究会」(2000~2002年度)
 - ・「新磁気科学調査研究会」(2001~2003年度)
 - ・「熱音響自励振動研究会」(2001年度)
- 6) 第13回低温工学サマーセミナー : 下記の通り開催する。

会期 : 2001年7月5~6日
会場 : 筑波山江戸屋
- 7) 日韓ワークショップ : 下記の通り開催する。

会期 : 2001年11月26日
会場 : 福井市

・支部事業

- 1) 関西支部 :
 - ・講演会を年4回(見学会1回を含む)開催する。
 - ・低温工学基礎技術講習会を開催する。
 - ・研究会を設置する。
- 2) 東北・北海道支部
 - ・講演会を2回開催する。
 - ・研究会を1回開催する。
 - ・超伝導・低温若手セミナーを開催する。

・共催, 協賛および後援のシンポジウム・講演会等

共催2件, 協賛14件を予定。(2001年5月17日現在)